

社團法人同盟通信社臨時社員總會議事錄

昭和貳拾貳年參月貳拾八日午前十一時ヨリ東京都千代田區日比谷公園  
貳番社團法人共同通信社會議室ニ於テ當社臨時社員總會ヲ開催ス

總社員 五拾九名

此ノ票決權 七千百八拾參票

出席社員（委任狀共） 四拾四名

此ノ票決權 五千九拾參票

清算人船木重光議長席ニ着キ開會ヲ宣シ昭和貳拾貳年參月拾八日附臨  
時社員總會招集通知書ニ記載セル左記事項ニ付議事ニ入ルベキ旨ヲ告  
グ

議案 清算終了ノ件

議長ハ先ヅ別紙

- (1) 收支計算書（同盟） 自昭和二十年四月三十一日  
至昭和二十年十月三十一日

社團法人同盟通信社

- (2) 貸借対照表（同盟） 昭和二十年十月三十一日現在

- (3) 收支計算書（清算） 自昭和二十年十一月十一日  
至昭和二十年二月二十八日

- (4) 貸借対照表（清算） 昭和二十二年二月二十八日現在

ヲ提示シ次デ古野伊之助氏が解散直後定款ノ規定ニ從イ清算人タリシ  
故ヲ以テ同氏ヨリ清算ノ方針並ニ大綱ニ付説明ヲ求メタリ

古野氏ハ前記(1)(2)ノ收支計算書及ビ貸借対照表ニ付報告シ清算當初ニ  
於ケル資産負債ヲ明カニシ之ガ清算ノ方針並ニ経緯ヲ詳細ニ説明シタ  
ル後

一 清算事務ハ前記(3)(4)ノ收支計算書及ビ貸借対照表ニ基キ早急ニ完  
了スルコト

ニロイテル通信社ノ營業權買收基金ノ件、戰時補償特別稅貳百七拾  
餘萬圓減免申請ノ件及ビ在外債權債務ノ問題等ハ何レモ事實上解  
決不可能ナルニ付清算事務ヨリ除外セルコト



三 清算結了後ノ未引揚職員ノ留守宅家族ノ世話及ビ今後引揚ゲ來ル職員ノ援護ニ關シテハ結了後「引揚職員世話人会」ヲ組織シテ之ニ一任スルコト

四 前記二月末現在ノ貸借対照表(4)ニ依レバ單ニ殘餘財産ヲ生ズル見込ナキノミナラズ反ツテ破産ノ止ムナキ状態ニ陷ルヤモ計リ難キ次第ナルモ萬一殘餘財産ヲ生ジタル場合ニハ定款ノ規定ニヨリ豫テ「其ノ歸屬者ノ決定ニ付テハ之ヲ清算人ニ一任スル」旨理事会ニ於テ決議シアルヲ以テ清算人ニ於テ民法第七十二條ノ規定ニ基キ適當ト思料スル處置ヲ執ルコト

次デ議長ヨリ前記(1)(2)(3)(4)ノ收支計算書並ニ貸借対照表及ビ從來ノ清算方針、清算結了ノ方式、殘餘財産ノ處理方法等ニ關シ出席各社員ノ意見ヲ求メタル處在外債權債務ノ處理及ビ引揚職員ノ就職狀況等ニ關シ質問アリ、之ニ對シ議長ヨリ答辯アリタル後滿場異議ナク附議事項全部ヲ可決確定シタリ

社団法人 同盟通信社

終ッテ議長ハ臨時社員總會ノ議事ヲ終了セル旨ヲ告ゲ午後零時二十分閉会ヲ宣ス

右會議ノ要領ヲ記シ左ニ署名捺印ス

昭和貳拾貳年參月貳拾八日

議長

出席社員

出席社員

昭和貳拾貳年參月貳拾八日  
長谷部 忠  
神田 五雄



# 收支計算書(同盟)

自昭和二十年四月一日

至昭和二十年十月三十一日

(1)

| 收入之部                     |            |    | 支出之部    |            |    |
|--------------------------|------------|----|---------|------------|----|
| 科目                       | 金額         |    | 科目      | 金額         |    |
| 新聞通信收入                   | 4.816.172  | 85 | 總 体 費   | 10.561.864 | 43 |
| 經濟通信收入                   | 3.439.072  | 53 | 本 社 費   | 3.250.030  | 35 |
| 海外通信收入                   | 4.054.500  | 00 | 國內支社局費  | 2.459.035  | 56 |
| 通信外諸收入                   | 3.733.317  | 88 | 歐州支局費   | 192.353    | 44 |
| 寫真部收入                    | 456.676    | 51 | 國內電信電話費 | 652.038    | 41 |
| 出版部收入                    | 230.036    | 18 | 海外電信電話費 | 1.903.575  | 32 |
| 小 計                      | 16.729.775 | 95 | 寫 真 部 費 | 422.479    | 93 |
| 前年度繰越金及<br>缺損補填基金<br>繰 入 | 2.992.336  | 00 | 出 版 部 費 | 280.734    | 51 |
| 合 計                      | 19.722.111 | 95 | 合 計     | 19.722.111 | 95 |



(2)

## 貸 借 對 照 表 ( 同 盟 )

昭和二十年十月三十一日現在

| 資 產 之 部 |   |               | 負 債 之 部       |   |               |
|---------|---|---------------|---------------|---|---------------|
| 科       | 目 | 金 額           | 科             | 目 | 金 額           |
| 土       | 地 | 596,411 21    | 借 入 金         |   | 2,674,224 38  |
| 家       | 屋 | 221,569 64    | 未 拂 電 信 電 話 料 |   | 1,511,099 00  |
| 機 械 器 具 |   | 106,000 00    | 未 拂 諸 經 費     |   | 1,172,897 36  |
| 什 器 備 品 |   | 376,258 00    | ロイタル營業權買收積立金  |   | 392,319 02    |
| 所有有價証券  |   | 796,110 00    | 未 經 過 通 信 料   |   | 1,364,753 57  |
| 保証有價証券  |   | 102,177 00    | 假 受 金         |   | 102,401 26    |
| 保 証 金   |   | 41,027 00     | 缺 損 補 填 基 金   |   | 781,129 08    |
| 諸 立 替 金 |   | 301,836 90    | 支那南方特別會計      |   | 3,195,799 68  |
| 假 拂 金   |   | 1,713,644 01  |               |   |               |
| 銀 行 預 金 |   | 6,049,997 49  |               |   |               |
| 諸 預 金   |   | 64,478 18     |               |   |               |
| 現 金     |   | 325,995 12    |               |   |               |
| 支社局手持現金 |   | 497,118 80    |               |   |               |
| 合 計     |   | 11,194,623 35 | 合 計           |   | 11,194,623 35 |



收 支 計 算 書 ( 清 算 )

(3)

自昭和二十年十一月一日  
至昭和二十二年二月二十八日

| 收 入 之 部                 |            |    | 支 出 之 部     |            |    |
|-------------------------|------------|----|-------------|------------|----|
| 科 目                     | 金 額        |    | 科 目         | 金 額        |    |
| 利 息 及 配 當               | 144.492    | 69 | 未歸還職員留守宅給與金 | 1.509.147  | 36 |
| 家 屋 賃 賃 料               | 89.099     | 10 | 引揚職員救恤見舞金   | 867.900    | 00 |
| 土地家屋處分收入                | 483.345    | 81 | 引揚職員援護手當金   | 755.575    | 00 |
| 什器備品處分收入                | 2.406.192  | 38 | 殉職職員弔慰金     | 395.000    | 00 |
| 雜 收 入                   | 503.308    | 04 | 戰時補償特別稅     | 482.755    | 96 |
|                         |            |    | 清算事務所費      | 1.035.067  | 84 |
|                         |            |    | 雜 支 出       | 917.268    | 99 |
| 小 計                     | 3.626.438  | 02 |             |            |    |
|                         |            |    | 小 計         | 5.962.715  | 15 |
| 土地家屋評價益                 | 4.609.253  | 11 |             |            |    |
| 什器備品評價益                 | 1.395.293  | 94 | 未 拂 金       | 1.720.655  | 75 |
| 缺損補填基金及支那<br>南方特別會計ヨリ繰入 | 3.347.413  | 24 | 第二封鎖預金損失準備金 | 1.577.818  | 92 |
|                         |            |    | 諸 引 當 金     | 4.217.208  | 49 |
| 合 計                     | 13.478.398 | 31 | 合 計         | 13.478.398 | 31 |



貸 借 対 照 表 ( 清 算 )

昭和二十二年二月二十八日現在

| 資 産 之 部 |           |    | 負 債 之 部             |           |    |
|---------|-----------|----|---------------------|-----------|----|
| 科 目     | 金 額       |    | 科 目                 | 金 額       |    |
| 土 地 家 屋 | 5,509.523 | 91 | 未 拂 借 入 金           | 626.325   | 75 |
| 什 器 備 品 | 1,491.537 | 94 | 諸 未 拂 金             | 1,094.330 | 00 |
| 有 價 証 券 | 518.831   | 00 | ロイテル營業權買收基金         | 211.200   | 00 |
| 保 証 金   | 20.138    | 00 | 假 受 金               | 39.379    | 63 |
| 貸 付 金   | 200.000   | 00 | 第二封鎖預金損失準備金         | 1,577.818 | 92 |
| 自 由 預 金 | 66.397    | 19 | 缺 損 補 填 基 金         | 129.515   | 52 |
| 第一封鎖預金  | 55.704    | 54 | 未歸還職員留守宅給與引當金       | 1,205.190 | 00 |
| 第二封鎖預金  | 1,577.818 | 92 | 引揚職員救恤見舞引當金         | 795.600   | 00 |
| 現 金     | 170.482   | 56 | 引揚職員援護引當金           | 701.474   | 24 |
|         |           |    | 清算事務所解散手當準備金        | 216.000   | 00 |
|         |           |    | 戦災並ニ引揚職員宿舍補修費 引 當 金 | 889.600   | 00 |
|         |           |    | 解 散 記 念 品 代 引 當 金   | 1,650.000 | 00 |
|         |           |    | 引揚職員世話人会經費引當金       | 480.000   | 00 |
| 合 計     | 9,616.434 | 06 | 合 計                 | 9,616.434 | 06 |



清算結了の件

解散後私が巢鴨に参りますま

告（昭和二十年四月一日より解散の十月末日まで七ヶ月間）が未だ済

んでをりません。又私は同盟解散後の跡始末をつける道義的責任もあると考へますので同盟時代の二十年度會計報告と解散後の清算經過の大略を御説明致します。

尙詳しいことに關する質問がありましたら私が巢鴨に行つてをります  
間は勿論實務は總てこの三君に委ねてをりましたから後刻三君から御  
聴きとり願ひます。

同盟通信社

尙この機会をかりまして私が昭和二十年十二月十二日巢鴨に收容され  
翌年八月三十一日出所するまで九ヶ月間公私に亘り皆様から種々と御  
心配を頂きましたことに對し茲に厚く御禮申し上げます。

一、在外職員の引揚及び復員状況

約二千名  
由

さて同盟が解散しました際海外の勤務社員及び應召中の職員は約千

參百名といふ多數に上りました。これらの者が内地に無事歸還する

まで留守家族を確り世話をし又歸還しても直ぐ方途に迷ふことのな

い、やう清算事務所での十分の面倒をみるといふ考へでこの部面に對す

る手當も清算事務所は所謂債權、債務の清算の外この仕事を主要な

終戦直後の混乱  
の見通し  
困難だが  
社員が会社  
に送る心を  
かたないこと  
政府の原  
にならぬこと  
の要  
の要  
の要

1

2

1/2

145

10

7

1





三十年度の  
決算  
報告書

任務としてやつて参りました。

(4) 二月末現在未歸還者數

當初これらの職員が全部歸還するのには三、四年位かゝるのでは  
ないかとも豫想してゐましたが豫想外に早く歸つて來ることが出  
來まして先月末の調べでは百參名が未だ外地に殘留してゐるとい  
ふことになつてをります。

「備考」

|      |                   |
|------|-------------------|
| 未引揚者 | 二二名（滿洲四朝鮮一臺灣三樺太三支 |
|      | 那五歐洲三南方六名）        |
| 未復員者 | 八一名               |

法人團 同盟通信社

計 一〇三名

尙滿洲國通信社は從來同盟と締盟關係を結んでをり  
理事長の塚本氏もその一人であるが相互に多數の社  
員を交換してゐるやうな關係から内地へ歸還する國  
通職員を放置するに忍びず全然據り所のない同社員  
のために同盟清算事務所内に「國通連絡事務所」を  
設置し友誼的な世話を焼いてゐるが未だ大半の者約  
貳百參拾名が歸還せず。

(5) 引揚者の就職狀況

次に歸還者の就職狀況を申し上げますと今日まで歸還者の約九割弱が  
共同通信社、時事通信社、その他適當な所に夫々就職してをりま  
す。



二十年度の数字

地方の社員新聞社の皆様に對しても再三御無理を御願ひし特別の御配慮に依り少からず採用して頂きましたことに對し深く感謝致しますと共に清算結了後は「引揚職員世話人會」を作つて此處で引續き引揚者の連絡や、就職の斡旋を致したいと思ひますから

この上共御力添へを特に御願ひ申し上げます。

三 昭和二十年度會計報告（同盟）

只今から御説明申し上げます昭和二十年度會計と清算現計は一般會計に關するもののみで支那及び南方の特別會計は切離してありますからこの點豫め御含み置き願ひます。これは同盟最後の社員總會（昭

法人國 同盟通信社

インフレ徴化に伴ふ

和二十年十月十二日）でも皆様の御諒解を得ましたやうに昭和二十年度の支那及び南方の現地に於ける不足金は總てこれを政府に於て然るべく調整處理方當局の諒諾を得てをりますし又現實の問題として目下の處在外資産及び在外債務は何とも處理出来ない事情にあるからであります。

（一）收支計算書（自昭和二十年四月一日至昭和二十年十月三十一日 七ヶ月間）

|       |            |    |
|-------|------------|----|
| 収入之部  | 一六、七二九、七七五 | 九五 |
| 支出之部  | 一九、七二二、一一一 | 九五 |
| 差引不足金 | 三、九九三、三三六  | 〇〇 |



となりこの不足金は豫て準備してをりました缺損補填基金及び前年度の繰越金を以て補填しました。かく不足金を生じましたのは戦時中の非常措置費、終戦後の復興施設費、解散による職員退職手當等の支出増に依るもので支出之部總体費が著しく膨張してゐるのはこれがためであります。

Ⅰ 新聞通信收入

新聞社の社費が主なるものであります。

Ⅱ 經濟通信收入

現在時事通信社が出してをります業種別活版通信の收入に相當するものであります

法人團 同盟通信社

Ⅲ 海外通信收入

對外活動經費の不足に充當する政府の助成金であります。同盟は國內活動經費は自給自足し對外活動の不足分を助成金で賄ふ方針で一貫して参りましたからこの海外通信收入も支出之部本社費中の海外局費とか、歐洲支局費とか、海外電信電話費等の支出に見合ふものであります。

Ⅳ 通信外諸收入

利息及び配當金、家屋賃借料、雜收入、火災保險金（技研、別館の戦災焼失による火災保險金約貳百萬圓）

收入之部



等であります。

寫眞關係、出版關係の收入であります。

× 寫眞部收入

× 出版部收入

○ (1) 總 体 費

この費目が著しく増嵩してをりますのは前述の如く戦時中の非常措置費終戦後の復興施設費、解散に伴ふ退職手當をこの總体費で處辨したからであります。

支出之部

× (1) 本 社 費

法人國 同盟通信社

× (イ) 國內支社局費

(ロ) 歐洲支局費

(ハ) 國內電信電話費

(ニ) 海外電信電話費

(ホ) 寫眞部費

(ヘ) 出版部費

説明省略

× 「備考」 職員退職手當明細

職員退職手當

解散手當

税金社負擔

積立金返還

計

圓

計 710,600,510

00

00

五〇

九四

八五

三、〇六八、五五七

四、〇三七、五〇七

六〇五、三七〇

七〇五、五一八

八、四一六、九五八



（二）貸借対照表（昭和二十年十月三十一日現在）

詰りこの貸借対照表を清算人が引継ぎこれに基き清算行為に入つた譯であります。

資産之部

|                                   |       |         |         |                  |           |        |
|-----------------------------------|-------|---------|---------|------------------|-----------|--------|
| （イ）土地                             | （ロ）家屋 | （ハ）機械器具 | （ニ）什器備品 | （ホ）所有有價證券        | （ヘ）保證有價證券 | （ト）保證金 |
| 地                                 | 屋     | 具       | 品       | 券                | 券         | 金      |
| これらは同盟時代の評價をそのまゝ、即ち帳簿價格で一應引継ぎました。 |       |         |         |                  |           |        |
|                                   |       |         |         | 通信發行のため差入れてある國債等 |           | 家屋敷金等  |

法人 同盟通信社

|                    |        |         |        |       |            |
|--------------------|--------|---------|--------|-------|------------|
| （ケ）諸立替金            | （コ）假拂金 | （ク）銀行預金 | （カ）諸預金 | （キ）現金 | （ク）支社局手持現金 |
| 金                  | 金      | 金       | 金      | 金     | 金          |
| 日映に對する融資參拾萬圓が主なるもの | 諸立替金   |         | 電報豫納金等 |       |            |

|                                                           |
|-----------------------------------------------------------|
| （イ）借入金                                                    |
| 金                                                         |
| これは放送協會からの借入金であります。                                       |
| この借入金は清算過程におきまして共同通信社に對する同額の債權（即ち共同に譲渡した什器備品代金）の支拂を受けずこの借 |



入金を共同に於て肩替りして貰つて清算しました。

○ 未拂電信電話料

× 未拂諸経費

○ ロイテル營業權買収基金

○ 未経過通信料

× 假受金

○ 欠損補填基金

（借入金）

これは後で御説明します。  
經濟通信の先取り通信料でこの債務は時事通信社に引継ぎました。  
受取人との連絡がつかないため支拂が出來ず保管してゐる俸給、退職金、保険金等の預り金

昭和十九年度の支那、南方特別會計に於

法人 同盟通信社

て現地のインフレ激化により不足金（約六百參拾萬圓）を生じましたので取敢へず昭和二十年度助成金を以て補填することゝしこれが基金を設定しました（同盟最後の社員總會でも報告済）

○ 支那及南方特別會計

支那南方の二十年度助成金の一部でありましてこれを以て支那、南方勤務職員の留守宅の世話、引揚者の援護の經費に充當すべく用意したのでありますが實際にはこれのみでは賄ひ切れず欠損補填基金よりも不足分を補填してをります。



三、清算現計（昭和二十二年二月二十八日現在）

（一）收支計算書（自昭和二十年十一月一日至昭和二十二年二月二十八日 一年四ヶ月間）

| 収入之部  |               |
|-------|---------------|
| 収入    | 九、六三〇、九八五 円七  |
| 支出之部  |               |
| 支出    | 一、三四七八、三九八 三一 |
| 差引不足金 | 三、八四七、四一三 二四  |

となり不足金は缺損補填基金と支那南方特別會計より繰り入れて補填しました。

収入之部

- （イ）利息及配當
  - （ロ）家屋賃借料
- 同盟所有の家賃収入

法人 同盟通信社

（ハ）土地家屋處分収入 土地家屋什器備品を處分して生じた評

（ニ）什器備品處分収入 價益収入

（ホ）雑支出

（イ）未歸還職員留守宅給與基金 留守宅給與金も物價騰貴に對應して

順次増額してゐます。現在留守宅給

與として毎月平均約八百五拾圓を送

金してをります。

（ロ）引揚職員救恤見舞金 引揚者職員が内地へ歸りました際見

舞金を出し又引揚職員の中で健康を

害してゐる者の醫療其他救護に要

する費用をこの費目で出してをります。



ハ引揚職員援護手當金

内地へ歸つても直ぐ就職出来ない者  
病氣で休養を要する者に對し適當期  
間（普通六ヶ月間）失業手當のやう  
なものを支給して居ります。

ニ殉職職員弔慰金

支那では幸にも一名の殉職犠牲者も  
出しませんでした。が南方では比島が  
最も多く合計參拾壹名といふ多數の  
殉職者を出しましたがこの弔慰金、  
弔祭料、慰靈祭費等であります。

米第二封鎖預金損失金

第二封鎖預金は大体に於て全部賦目  
となりふのが最近の常識であり税務

支出之部

法人 同盟通信社

ハ戦時補償特別税

著でもその見解をよつてあるやうで  
すから金額損失金として計上しまし  
た。

これは特殊預金證書として持つてを  
りましたものを戦時補償特別税の一  
部として納入したものであります。が  
實はこの外約貳百七拾萬圓の特殊預  
金を終戦直後現金化してをりますの  
でこれも戦時補償特別税として納入  
せねばなりません。がこれを支拂ふこと  
とになれば清算出来なくなります。



で事情を具申して全額減免の申請を  
してゐます。然し未だ可否決定せず  
清算結了する上に頗る大きな問題の  
一つであります。

清算事務所の経費であります。

- (H) 清算事務所費
- (イ) 雑支出
- 申請引當金
- (ロ) 未拂金
- (ハ) 第三封鎖損失準備金
- 後述
- (ニ) 諸引當金

清算結了に當り必要資金額でありまし  
て次に御説明する二月末現在の貸借  
対照表の負債の部に計上してある引  
當金と未拂金の合計額であります。

法人 同盟通信社

○ (二) 貸借対照表 (昭和二十二年二月二十八日現在)

(イ) 土地建物 この貸借対照表を御覧になつて御分りになり

ます通り手持の資金が極めて窮屈になつてを  
り此處で土地建物でも處分し四、五百萬圓の  
資金を作らねばならぬ破目になつてをります。

今此處で處分するとすれば大きなものは日映  
ハ貸してゐる建物位でありますから昨年末か  
らこれを日映で買つて貰ふやう交渉してゐま  
す。



(ロ) 什器備品

共同通信社、時事通信社等へ譲渡したもの、

代器備品を

中月賦で賣却したもので未だ入金してゐないものがあります。

いはゞ未取立債權のやうなものであります。

を此の形で計上したものを

(ハ) 有價證券

(ニ) 保證金

家屋敷金

(ホ) 貸付金

これは日映に對する同盟時代の融資金の残り

資産之部

であります。

(ヘ) 自由預金

(ト) 第一封鎖預金

法人 同盟通信社

(チ) 第二封鎖預金

(リ) 現金

(四) 未拂借入金

引揚職員が生活上已むなく外地で個人より借

用した小口借入金で次の諸未拂金と共に必要

資金が出来ないため支拂を延期してゐるもの

であります。

負債之部

(ロ) 諸未拂金

弔祭料、戦災建物修理費、焼跡整理費等であ

ります。



## ロイテル營業權買收積立金

これは同盟時代にロイテルの營業權買収のた  
め積立てたものでありますが、このロイテル  
との問題は清算事務所としては未解決な重要  
な懸案事項の一つであります。本件は國際通  
信時代に遡り當時ロイテルの極東に於ける營  
業權を貳萬磅にて買収する契約が出来まして  
その支拂方法として一時に現金拂が出来なけ  
れば一流銀行の支拂保證が欲しいとのロイテ

### 法人同盟通信社

ルの申出に従ひ三菱銀行にこの債務の支拂保  
證を依頼しこれが擔保として英貨五分利附國  
庫債券~~集~~貳萬四千磅を同行倫敦支店に預け  
入れました。そしてこれが利札の中からロイ  
テルに利息（年壹千磅）と三菱に對する保證  
料（年貳百磅）を支拂つて來たのであります  
が昭和十八年に外貨處理法により強制的にこ  
れを登録邦貨公債（三分半利國庫債券二一、  
二〇〇圓）に乘替へさせられたのであります。



實情は以上の通りでありまして清算人としては政府から強制的に邦貨公債に乘替へさせられたのでありますからロイテルに對する債務問題が起れば政府が當然補償の責を負ふべきものであるとの見解をとつてゐる譯ですが講和會議の済むまでは未解決のまゝにおくより外ありません。

(二) 假 受 金  
受取人との連絡がつかないため預つてをります俸給、退職金等

社 法 人 同 盟 通 信 社

(内) 第二封鎖預金損失準備金  
第三封鎖預金は大体に於て全部駄目だといふのが最近の常識であり税務署でもその見解をとつてゐるやうです。から全額損失金として計上しました。

(ハ) 缺損補填基金  
缺損補填基金の残高であります。

(ト) 未歸還職員留守宅給與引當金  
收支計算書にて御説明した通り結了後用意せねばならぬ引當準備金であります。

(チ) 引揚職員救恤見舞引當金

(リ) 引揚職員援護引當金

(ニ) 清算事務所解散手當準備金  
清算事務所の解散に伴ふ關係

職員の退職手當等で顧問辯護士に對する謝禮も含みます。



Ⅳ 戦災並に引揚職員  
宿舍補修費引當金

戦災者と引揚職員の宿舍として育成會  
の建物を使用しましたがかれこれ二年  
の間に酷く荒しまして文字通り「あは  
らや」にして終わりましたのでこれは元  
通りにならなくとも多少補修して返還  
したいと思ふのであります。

Ⅴ 解散記念品代引當金

解散の際に退職手當は出しましたが解  
散手當は出してをりませんので記念品  
のやうなものでも一人當り五百圓位の

社人關  
同盟通信社

豫算で作つてみてはと思ひますがこれ  
も實際に資金の餘裕が出来た上のこと  
で戦時補償特別税やロイテルの問題如  
何では單なる机上案に終るかも知れま  
せん。

Ⅵ 引揚職員世話人會經費

清算事務所閉鎖後の留守宅の世話や、  
今後引揚げて来る職員の連絡や就職の  
斡旋、援護をする機關として南方、支



那、滿洲とか現地の責任者を以て世話人  
會を組織して種々と面倒をみることに致  
したいと存じます。

法人 同盟通信社



四 結 論

以上清算の現計について大体御説明致しました。

今後の清算事務と致しましては資産を至急処分し清算終了に必要な資金を得て此の際支拂はねげならない債務を整理したいと思ひます。實は此の總會までに処分し得るものはなるべく処分し貸借對照表をもつと簡単なものにしておきたかつたのでありますが大きなものゝ処分になるとさう簡単には行きません。前述の通り日映の建物なども昨年末から日映に買つて貰ふ交渉をしてゐますが未だまとまらない實情にあります。

社 法 人 同 盟 通 信 社

次に

(イ)ロイテル通信社に對する債務の問題

(ロ)戰時補償特別税貳百十拾餘萬圓減免申請の問題（貸借對照表の上

には計上せず）

(ハ)在外債權債務の問題

今後大きな未解決事項として残りますがこの問題の解決をまつて

ゐてはあと一年かゝるか二年かゝるか判りませんし、同盟の清算事務も大分長くなりましたし、この邊で一應皆様に清算會計の中間報

清算事務の現状を報告し



告をなし此の機會に

成るべく早い

- (一)この二月末の貸借對照表に基き適當な時期に清算を結了すること
- (二)結了後の未引揚職員の留守宅家族の世話及び今後引揚げて來る職員の援護に關しては結了後「引揚職員世話人會」を組織してこれに一任すること。

で御承認を得たいと存じます。

以上

「備考」 殘餘財産の件

社団法人 同盟通信社

二月末の貸借對照表では殘餘財産は殆ど残らない計算であり、のみならずまかり間違へば破産の憂目をみるかも知れないや

止むなきに至るやも

うな問題を殘してゐる譯でありますが高一殘餘財産が出来る

定款第三十七條により理事會に於て

やうな場合は既に「其の歸屬者の決定については之を清算人に一任す」といふことに御承認を得てをりますから民

か、結局

法第七十二條に依り類似せる目的のため財産を處分するなり國庫に歸屬せしめるなり清算人に於て最も適當と思はれる處置を執りたいと考へてをります。

(了)